

「オスプレイ来るな！訓練やめろ！」  
安保破棄実行委・平和委員会が申入れ

安保破棄北海道実行委員会と北海道平和委員会は6月2日、オスプレイを使った日米共同訓練が道内の演習場で計画されていることに対し、北海道防衛局へ「オスプレイ参加による日米共同訓練の中止を求める要請」を提出。①日米共同訓練の詳細と部隊の移動の詳細を明らかにし、その内容を公表すること。②オスプレイの道内訓練・飛行を行わないこと。③矢臼別演習場など道内演習場での日米共同訓練を常態化、固定化しないこと。という3点について申し入れました。

宮内聡安保破棄北海道実行委員会代表委員から、「オスプレイは訓練時だけでなく、移動のため本州から『飛んでくる』という点でも他の訓練とは性質が違う。道民の安全・安心を守るためにも訓練を中止すべきだ」と求めました。

北海道平和委員会理事長の石田明義弁護士は、「今回、オスプレイによる訓練を皮切りに、その範囲や規模を拡大したり、北海道へ配備するようなことは絶対にあってはならない」と迫りました。

応対した北海道防衛局企画部地方調整課の木本義博基地対策室長は、訓練の時期や内容などの詳細は日米間で協議中のため、「決まり次第、『地元の理解』を得られるよう丁寧に説明する」と、具体的な内容については触れられませんでした。オスプレイについては「空輸力など高い能力を持ち、日米双方に有益なもの」と述べました。

これに対し、要請団は「飛んでくる際の中継地には事前に説明を行うべき」「矢臼別に大量の砂利が搬入され、土砂が搬出されているという情報もあるが、何の工事をしているのか」などについて質しましたが、「現在、協議中」と明言を避けました。

黒澤幸一道労連議長は、「墜落事故の原因もあいまいなままだ。オスプレイの飛来を私たち道民は歓迎しない。米軍いいなりをやめ、訓練を中止して道民の安全・安心を最優先にすべき」と求め、訓練の詳細が分かり次第、再度申し入れを行うことを確認して要請を終えました。

演習が予定されている現地・別海では、6月25日に「日米共同訓練・オスプレイ訓練反対別海集会」が行われます。8月5日には「矢臼別平和盆おどり」が行われます。全道各地から代表派遣など連帯の取り組みを強めましょう。